

このような過程を経て

令和2年度一般会計予算を可決しました

令和2年度一般会計予算に対し、予算委員会でさまざまな審査を行いました。予算委員会では、こども館施設整備事業費の修正案が提出され、賛成多数で可決しましたが、本会議では修正案を否決し、原案のとおり令和2年度一般会計予算を可決しました。



宮田 竜二 議員

「令和2年度霧島市一般会計」は、本市の喫緊の課題に的確に対処するとともに、幅広い世代に対して有益で切れ目のない施策を展開するための事業などを盛り込み、総額608億円の予算編成になっております。

修正案には、幾つかの疑念点があり、「いまさら感」が強く、容認できるものではないと考えます。

こども館については、利用される保護者の利便性は重要ですが、利便性を最優先にするのではなく、その機能や価値に注力すべきであると考えます。

原案賛成



徳田 修和 議員

隼人中学校校舎の大規模改造事業、光ブロードバンド整備事業第2期整備、災害時における情報伝達の多重化と新たな情報伝達手段の構築及び移動系防災行政無線代替システム整備事業、Net119緊急通報システム、移住定住促進事業や、いきいきチケットの利用範囲の拡充などをはじめ、これまで議会からも提言をしてきた相談窓口を一本化する包括的相談支援体制整備、子育て環境の整備として要望もあつたこども館施設整備事業は、市長の公約もさることながら、十分期待をしたいものであり、決断を評価します。



山口 仁美 議員

修正部分以外の全体の予算編成については、良くできているものと評価しています。

こども館のハイテク展望台への設置そのものを否定するのではなく、内容について再度立ち止まり、提示された調査費用を活用することで、現在設計に足りていない専門家の知見や、議員の皆様へ寄せられた市民の声を聞いて再度検討し、安心・安全で、費用対効果が高いこども館とするとともに、今回遠距離になってしまう地域への設置を確実に計画の中に位置付けることを目的として修正案に賛成します。

修正案賛成



松枝 正浩 議員

こども館建設に反対をする訳ではありません。また場所についても、魅力ある施設となれば、距離等を含む、不安要素を払拭し得ることも考えられます。今回の当初予算説明において、こども館施設整備に議論できる具体的なエビデンス(証拠・根拠)が提示をされていないことに、この投資の不安を感じます。事業費の試算、施設整備の財政負担の見通しや財政健全化計画との関係性、今後の市民の税負担なども、大切な政策であるからこそ、まずは、これらを提示する必要があると考えます。

令和2年度 特別会計・事業会計予算

国民健康保険特別会計 **可決**
154億248万円

ポイント 特定健康診査受診率向上の取組、健診結果に基づく特定保健指導、人間ドック助成、医療機関での重複・頻回受診者、重複服薬者に対する生活指導の実施、糖尿病重症化予防の推進及びジェネリック医薬品の普及

討論 私はどう考える!

反対です 仮屋 国治 議員
財政的視点だけではなく、市民の皆様が、安心して生活できる中長期的な安定した制度の構築を強く求める。

賛成です 宮内 博 議員
基金2億円を繰入れ、2019年度と同じ税率で国保を運営するとして、国保税を値上げしていない。

後期高齢者医療特別会計 **可決**
15億5,048万円

ポイント 一日人間ドック助成事業、長寿健診事業、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る訪問指導事業への取組

討論 私はどう考える!

反対です 前川原 正人 議員
後期高齢者の人口と医療費が増えるほど、保険料の値上がりに直結し、負担増と軽減措置の後退が明らかになっている。

賛成です 山口 仁美 議員
後期高齢者医療事業が円滑に行われ、医療費の適正化に重点を置いた予算編成となっている。

介護保険特別会計 **可決**
117億6,125万円

ポイント 高齢者の自立支援や重度化防止、地域共生社会の実現、介護保険制度の持続可能性を確保することに配慮し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう地域包括ケアシステムの強化に向けた取組を推進

討論 私はどう考える!

反対です 前川原 正人 議員
サービスの切り捨てや負担強化ではなく、国庫負担の引き上げを図り、安心して老後を過ごせる施策が求められている。

賛成です 前島 広紀 議員
高齢者が住みなれた地域で安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムの強化に向けた取組を推進するための予算計上である。

水道事業会計 **可決**
23億7,892万円(収益的収入)

ポイント 水道事業と簡易水道事業で、配水管布設工事、配水管布設替工事、配水池等の施設設備工事を予定

下水道事業会計 **可決**
11億8,256万円(収益的収入)

ポイント 公共下水道で国分隼人地区污水管渠工事4工区外、取付管設置工事を予定

討論 私はどう考える!

反対です 宮内 博 議員
受益者負担金一括納入報償金20%の現行制度を改め、受益者負担金の引き下げをすべきである。

賛成です 松枝 正浩 議員
ストックマネジメント計画策定、管路や処理場の維持管理等を行い、快適な生活環境の確保と河川等の公共用水域の水質保全を実現しようとしている。

